

# 延岡河川国道事務所の職場環境の改善について

増尾 颯大<sup>1</sup>・職場環境PT<sup>2</sup>

<sup>1</sup>九州地方整備局 延岡河川国道事務所 河川管理課 (〒882-0803 宮崎県延岡市大貫町1丁目2889)。

<sup>2</sup>九州地方整備局 延岡河川国道事務所 (〒882-0803 宮崎県延岡市大貫町1丁目2889)。

延岡河川国道事務所では2021年に事務所設立70年を迎える。これを契機とし、WLBを実践しつつ、事務所の潜在能力を最大限発揮できるよう、職場環境の充実を目指すとともに、コロナ禍への対応を目的に所内に職場環境PTを設置した。

キーワード 職場環境PT、若手主体、新しい風、一体感

## 1. 職場環境PTについて

### (1) 職場環境PTの概要

職場環境PTは、事務所の資産を最大限活用するために、現時点での事務所内の使用方法の見直しを行うとともに、働き方改革への取り組みと併せた事務所内の環境整備等を実施する目的で発足した。

当事務所の執務室や倉庫等は業務の関連性を考慮して配置されているものの、必ずしも有効活用されているとは言いがたく、改善の余地があると考えられていた。そういった場所の有効活用方法を考えることから、職場環境PTとしての第一歩を踏み出した。

### (2) 職場環境PTの構成について

事務所長、事務副所長を総括とし、リーダーに課長、官クラスの職員、メンバーに係長、担当クラスの職員をもって構成されている(図-1)。メンバーには若手職員を積極的に起用し、若手ならではの観点からよりよい職場環境の充実に向けて意見を打ち出していくことで、新たな風を吹き込むことが期待されている。現に令和3年度の職場環境PTメンバー13名のうち、7名が担当であり、その中で5名が今年度採用の新規採用職員である。

また、職場環境PTの運営に関してはPTのメンバーだけでなく、各職員の課の所掌業務の枠を越えて参加することを基本としており、事務所全体で取り組んでいる。

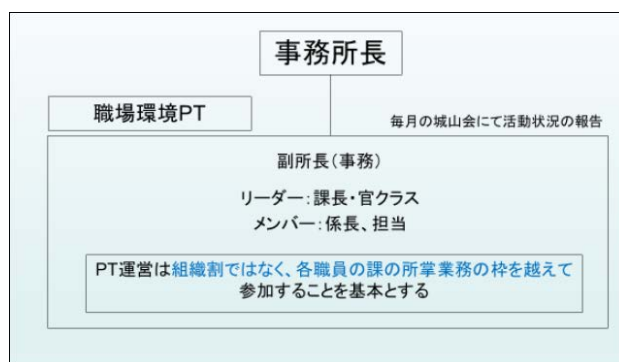


図-1 職場環境PT構成図



写真-1 打合せ状況

## 2. 活動実績について

### (1) 倉庫の整理作業

延岡河川国道事務所には長靴やヘルメット等の現場で使用する物や広報活動等で使用する物を収納する倉庫が2部屋存在している。しかし、その2部屋に関しては現

場用、イベント用の物が混合して置かれており、どこに何があるのかが判断しづらい状況であった（写真－２）。それらを解消するために、一度倉庫内のものを全て搬出し（写真－３）、 unnecessaryなものについては処分、必要な物については整理して置き直すといった作業を行った（写真－４）。



写真－２ 倉庫整理前



写真－３ 倉庫整理中



写真－４ 倉庫整理後

## （２）広報関係の備品置き場

主に広報関係で使用する物品等を保管する倉庫についても整理した。整理前は様々な物品が混合して置かれており、効率的な管理が出来ていなかった（写真－５）ため、不要な資料や情報が古くて使用出来なくなったパンフレット、広報パネル等を整理した。また車が乗り入れ出来るほどのスペースも生まれたため、イベント時には効率的な使用が可能となった（写真－６）。



写真－５ 広報関係物品倉庫作業前



写真－６ 整理作業後

## （３）執務室の整理作業

次に手をつけたのが執務室である。執務室は職員が常に利用する場所であるため、その場所を整理することが職員の働きやすさを上昇させるのに直結すると考えた。また執務室の改善は、業務効率のアップに繋がり、これは政府をあげて現在取り組まれている働き方改革にも寄与するものでもある。執務室での整理作業については、職場環境PTメンバー以外の職員にも多数の協力を頂き、実施した。以前は使用されていたが現在はデッドスペースとなり、有効活用されることもなく物置として使用をされていた箇所が執務室内に存在していた（写真－７）。その場所を整理し、机と椅子を配置することによって、誰もが気軽に使うことのできる打合せスペースを創出し

た（写真－8）。



写真－7 デッドスペースとなっていた場所



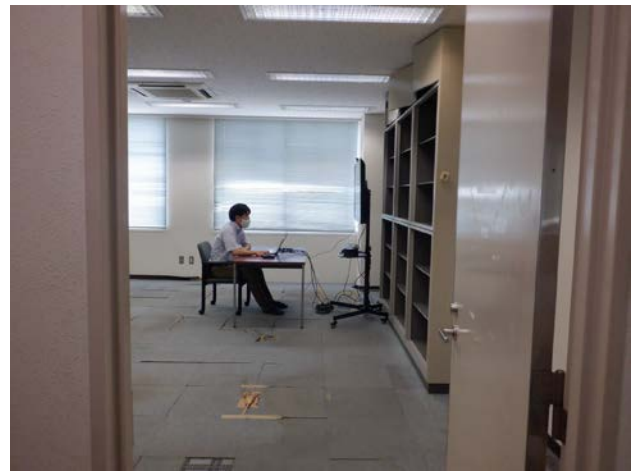
写真－8 整理作業後

#### （4）書庫の整理作業

これまで書庫として使用されてきた場所についても有効活用出来ないか検討をした。書庫と言っても、完全に書庫だけの用途で使用されているスペースと、打合せスペース等と兼ねている書庫が存在していた。書庫は書庫、打合せ場所は打合せ場所として分離（写真－9）することで、それぞれのスペースをより有効活用できるのではと考えた。（写真－10）



写真－9 不要物の搬出状況



写真－10 整理作業後

### 3. 活動の結果

#### （1）事務所の整理作業を行ってみて

作業を行ってみて気づいた点が、実際には既に使用目的が終わっていると思われるにも関わらず、適切に管理されていないような物が少なからずあったという点である。

特に当事務所では倉庫や書庫などにおいてこの傾向が顕著であった。執務室や倉庫のスペースには限りがあることから、今後は常に整理整頓を行うことによって、不要物について持ち込みや仮置きをさせない雰囲気を作っていくことが必要であると考えます。

#### （2）コロナ禍への対策について

昨年からのコロナ禍によって、これまでは対面で行われていた本局や外部との打合せがWEB中心となり、WEB用の会議室の確保や、ソーシャルディスタンスを保ち三密を回避しながら会議を行えるスペースの確保が急務となった。特に、延岡は地理的要因もあり、本局やコンサルタント業者との打合せの多くがWEB会議に切り替えられ

たことから会議室の不足が大きな課題となった。その課題について、事務所の整理作業を行うことによって解決へと向かう1つの要因となった。

### (3) 事務所の整理作業で得られたもの

作業を行って行く中で、作業に参加してくれる方が回数を重ねるごとに増えていった。これには理由が2点あると考える。1点目は職場環境PTが「若手主体」であったことである。若手ならではの視点から、職場環境の改善に向けて企画や提案をしていくことにより、事務所に新しい風を吹き込むことが出来たと考えている。2点目の理由として、目に見える形で職場が変わっていくのが実感できたからである。そうすることで、職場環境PTメンバー以外の職員にも、自然と整理作業に対する意識が生まれたのだと考える。

以上のように、最初は職場環境PTメンバー9人（写真-11）から開始した活動であったが、回数を重ねるにつれて参加者増加し、最大で20人程度となるときもあった（写真-12）。整理作業によって事務所全体に一体感が生まれ、「絆」を得ることが出来たと考えている。



写真-11 初期整理作業参加者



写真-12 回数を重ねた整理作業参加者

## 4. 風通しのよい職場に向けて

延岡河川国道事務所の整理作業を行うことで、事務所内において心地よく、職務をスムーズに行えるようになったと感じている。また当事務所には多くの事業関係者や地元の方々も訪れる機会があるが、ある方より延岡河川国道事務所の職員・非常勤職員は、皆挨拶やお辞儀など丁寧に対応してもらっており、来訪するたびに気持ちよい接遇を受けているようでありがたいといった声も聞こえているところである。このような声が聞けるようになったのも、延岡河川国道事務所として職場環境の改善に取り組むことで事務所が明るい雰囲気になったことなどが影響していると考えられる。今後も地域の方々・業界の方々に開かれた事務所として、広く利用頂けるよう私自身職場環境PTメンバーとしての取組・意識を継続して、引き続き事務所の一員として、一丸となって職務を遂行していく気概である。